水栓柱リベルタ（）施工･取扱説明書

このたびは水栓柱リベルタをお求めいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
●お客様へ
　お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
●工事店様へ
　施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

【お客様窓口】品質保証部　開発課
〒501-2104　岐阜県山県市東深瀬94-2
TEL:0581-23-0570
受付時間9:00～17:00（土･日･祝日は除く）
URL　http://www/mizsei.co.jp/
日本工業規格認証取得工場　ISO9001･14001認証登録

【施工について】

施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害･物損）に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。）必ずお読みになり、記載事項を守って下さい。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

修理技術者以外の人は、水栓柱本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本製品に強い力や衝撃を与えないでください。

必ず垂直に設置してください。

適切な使用条件

〔水圧について〕●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

	最低必要水圧（流動時）	最高使用圧力（静止時）
給水圧力	0.05MPa	0.75MPa

〔水質･用途について〕

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工手順

①設置場所の確認　給水配管の位置を確認する。

⚠注意
製品の設置方向は、ホース用水栓のハンドル位置を基準にしてください。

②エルボの接続･位置決め･配管の接続
●工具を使ってしっかりと締め付け、接続してください。
●先に「エルボ」を接続すると、後の施工が容易になります。
●仮固定・位置決めは、「エルボ」を接続した後に行ってください。
●配管種類に合わせて、継手等を手配してください。

③通水点検
蛇口施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを確認します。
●このとき、確実にフラッシングを行ってください。
フラッシング：蛇口を全開にし、約30～60秒間勢いよく通水を行ってください。

施工後数日～数ヶ月で、『水が出ない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

⚠注意

●取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
●接続の際は、接続継手が回らないように、スパナ等の工具で掴んで接続してください。
●シール剤が本体内部に入らないように注意してください。
●接続継手以外には工具をかけないでください。
●水栓柱は住宅の基礎面上に設置してください。
●PC板などの十分強固な上に設置してください。
●配管は必ず100mm以上埋設してください。
　水栓柱のグラつき防止のため、300mm埋設をオススメします。
　凍結が予想される地域では、各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございますので、指示に従ってください。
●水栓柱は必ずコンクリートで根巻きを行ってください。
　器具のグラつき･転倒が発生する恐れがあります。
●凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置してください。
　凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【ご使用について】

ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
けがをするおそれがあります。

⚠注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結予防

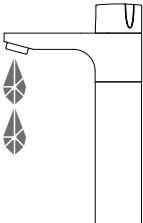
凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。
●蛇口より少量の水を出してください。
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結防止策を講じてください。

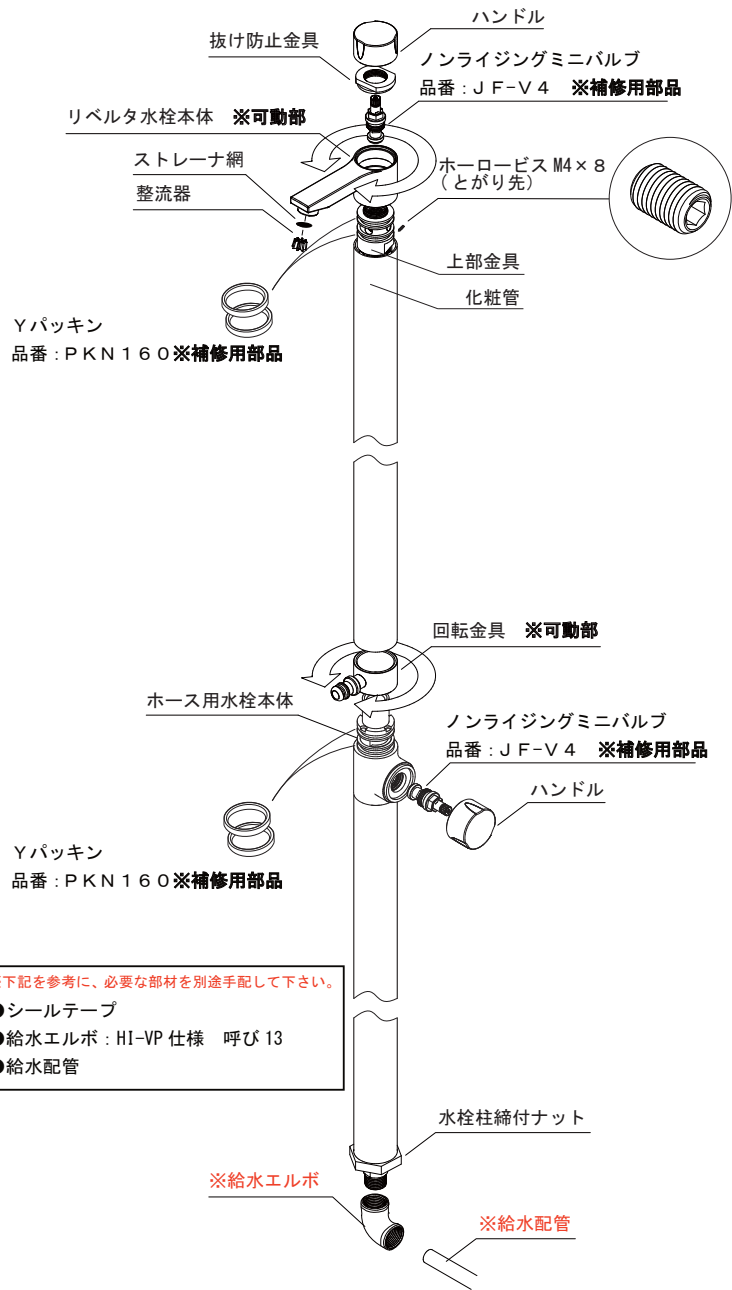
お手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にご使用いただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
　※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤　　●ナイロンたわしなど

【本製品の構造】

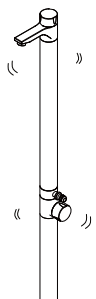
構造を表したイラストです。
本製品の構造をご理解いただくのにご使用ください。

※下記を参考に、必要な部材を別途手配して下さい。
●シールテープ
●給水エルボ：HI-VP 仕様　呼び 13
●給水配管

【定期的な点検】

可動部分の点検

●可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。
　放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼ください。
●吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。
●日頃から、ときどき吐水口を回して下さい。（月1回を目安）吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼ください。

配管回りの水漏れ・器具のガタツキの点検

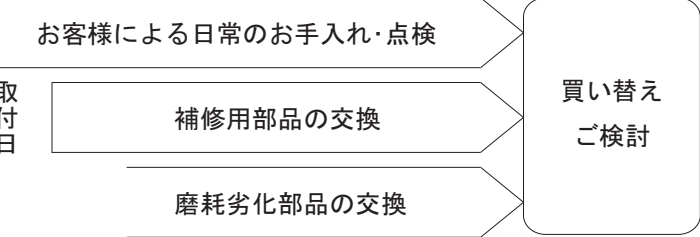
●定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。
（年2回を目安）
●定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。
（年2回を目安）
　劣化・磨耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【メンテナンスについて】

補修用部品交換目安

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

取付日

お客様による日常のお手入れ・点検
補修用部品の交換
磨耗劣化部品の交換
→ 買い替え ご検討

ノンライジングミニバルブ（品番：ＪＦ−Ｖ４）、Ｙパッキン（品番：ＰＫＮ１６０）が磨耗・劣化すると水漏れの原因となります。
水漏れ等が見つかった場合、当社【お客様窓口】までお問い合わせ頂き、交換部品をお求めください。